

令和 7 年度

大仙市花館財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見書

大仙市監査委員

大仙監査一 6 5
令和8年8月18日

花館財産区管理者
大仙市長 老 松 博 行 様

大仙市監査委員 伊 藤 淳

大仙市監査委員 佐 藤 富 佳

大仙市監査委員 橋 村 誠

令和7年度大仙市花館財産区特別会計
歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和7年度
大仙市花館財産区特別会計歳入歳出決算について審査したので、その結
果について次のとおり意見を提出する。

目 次

令和 7 年度花館財産区特別会計歳入歳出決算審査意見

I	適用した監査基準	1
II	財務監査等の種類	1
III	審査の対象	1
IV	審査の着眼点	1
V	審査の主な実施内容	1
VI	審査の実施場所及び日程	2
VII	審査の結果	2
VIII	審査の意見	2
IX	資料（決算の概要）	
	1. 決算額	4
	2. 歳入の決算及び執行状況	5
	3. 歳出の決算及び執行状況	6
	4. 財産調書	9

令和 7 年度大仙市花館財産区特別会計 歳入歳出決算審査意見

I 適用した監査基準

本決算審査は、大仙市監査委員監査基準に準拠して実施した。

II 財務監査等の種類

決算審査（地方自治法第 233 条第 2 項）

III 審査の対象

決算審査の対象となった決算書等は以下のとおりである。

- (1) 歳入歳出決算書
- (2) 歳入歳出事項別明細書
- (3) 実質収支に関する調書
- (4) 財産に関する調書

IV 審査の着眼点

審査に付された決算書等の計数の正確性を確認し、予算執行が適正かつ効率的に行われたかを審査した。

V 審査の主な実施内容

決算書等の計数の正確性については、関係する諸書類との突合により、予算執行の適正性及び効率性については、関係各部署からの提出資料及び聞き取りに基づき、併せて定期監査や例月現金出納検査の結果等も参考に審査した。

(1) 計数の正確性の確認

ア 歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書

予算執行は電算システムで管理され、個々の収入、支出のデータから決算書類を作成されることを踏まえ、土地貸付収入の調定及び収入未済等について、それらが正しく処理されているかを主な観点とした。

イ 財産調書

財産調書については、前年度調書との整合性、当年度の増減の適正性、当年度末残高の実在性の確認を主な観点とした。

(2) 予算執行の適正性及び効率性の審査

予算を所管する部署に対し、資料提出を求め、聞き取りを行った。

特に収入未済額の実在性について、決算書と所管課の管理する台帳等との照合を行った。

VI 審査の実施場所及び日程

(1) 実施場所

予備審査は監査委員事務局、本審査は神岡支所第1会議室において実施した。

(2) 日程

- 6月 1日 管理者から審査依頼
- 6月 5日 決算審査実施通知
- 6月26日 予備審査（諸帳簿等確認）
- 7月 7日 監査委員による本審査（対面審査）
- 8月 4日 審査意見 監査委員合議
- 8月 7日 関係部長講評
- 8月18日 審査意見書の提出

VII 審査の結果

審査に付された決算書等は、前記IV及びVにより審査した限りにおいて、法令に適合し、かつ正確であると認める。

また、予算執行については後述のVIII（1）指摘に記載した事項を除き、おおむね適正であると認める。

VIII 審査の意見

(1) 指摘

・補助金に関する予算の調製及び執行について

財産区住民の団体等への補助金については、「財産区の補助」は財産区の財産の維持管理上必要な場合に限られていることから、当該経費を繰出金として市の一般会計に繰り出し、市の事業として行うなど、適切な方法により支出するよう求めてきたが、令和7年度においても財産区住民の団体等に対し2,964千円を財産区の予算から直接交付しており改善がなされていない。

上記補助金の支出については、スポーツ振興団体や社会福祉協議会及び町内会等の団体への補助であり「財産区の財産の維持管理上必要な場合」の補助に該当しないと判断されることから、財産区管理者は当該経費を財産区から繰出金として市の一般会計に一度繰り出し、市の事業として行うなど適切な予算を調製し支出するよう是正されたい。

なお、昨年度まで20年間にわたり同様の趣旨の指摘を行っている。

(2) 検討・要望

・土地賃貸料について

土地貸付収入に収入未済額が188,164円計上されている。これは滞納者2名に対する賃貸料である。いずれの滞納者もここ数年間にわたり入金がないことから、滞納者及び相続人への納付折衝、時効中断などの債権管理を強化されたい。

IX 資料（決算の概要）

1. 決算額

（1）決算額及び収支

（単位：円）

区 分	予算現額 (A)	決算額 (B)	増減額 (B) - (A)	備 考
歳 入	11,963,000	41,829,119	29,866,119	調定額 42,017,283
				不納欠損額 0
				収入未済額 188,164
歳 出	11,963,000	9,821,712	△ 2,141,288	翌年度繰越額 0
				不用額 2,141,288

歳入歳出差引額（形式収支）(ア) 32,007,407 円

繰越事業の財源として翌年度に繰越す額(イ) 0 円

実質収支(ウ) ((ア)-(イ)) 32,007,407 円

前年度の実質収支(エ) 32,336,631 円

単年度収支 (ウ)-(エ) △ 329,224 円

（2）決算額の推移

（単位：円、％）

年 度	R03	R04	R05	R06	R07
予 算 現 額	10,840,000	14,964,000	11,613,000	12,106,000	11,963,000
指数	100.0	138.0	107.1	111.7	110.4
歳入決算額	43,797,289	44,207,274	43,718,811	43,138,165	41,829,119
指数	100.0	100.9	99.8	98.5	95.5
歳出決算額	8,720,020	10,191,153	9,631,310	10,801,534	9,821,712
指数	100.0	116.9	110.5	123.9	112.6
形 式 収 支	35,077,269	34,016,121	34,087,501	32,336,631	32,007,407
指数	100.0	97.0	97.2	92.2	91.2
翌年度に繰越すべき財源	0	0	0	0	0
実 質 収 支	35,077,269	34,016,121	34,087,501	32,336,631	32,007,407
前年度の実質収支	33,082,664	35,077,269	34,016,121	34,087,501	32,336,631
単 年 度 収 支	1,994,605	△ 1,061,148	71,380	△ 1,750,870	△ 329,224

決算額及び収支に関する5か年度の推移は前表のとおりである。

令和7年度の実質収支から前年度の実質収支を差引いた単年度収支は329,224円の赤字である。

2. 歳入の決算及び執行状況

(1) 決算額

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入割合		
						対予算	対調定	構成比
財 産 収 入	8,417,000	9,646,032	9,457,868	0	188,164	112.4	98.0	22.6
繰 越 金	3,545,000	32,336,631	32,336,631	0	0	912.2	100.0	77.3
諸 収 入	1,000	34,620	34,620	0	0	3,462.0	100.0	0.1
計	11,963,000	42,017,283	41,829,119	0	188,164	349.7	99.6	100.0

歳入の決算額は上表のとおりである。

(2) 款毎の前年度比較

1 款 財産収入

(単位：円、%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入割合	
						対予算	対調定
R07	8,417,000	9,646,032	9,457,868	0	188,164	112.4	98.0
R06	9,190,000	9,214,807	9,045,093	0	169,714	98.4	98.2
比較増減	△ 773,000	431,225	412,775	0	18,450	14.0	△ 0.2
増減率	△ 8.4	4.7	4.6	0.0	10.9	—	—

前年度と比較して収入済額は4.6%増加した。

収入未済額として計上されたものは土地貸付料であり、令和元年度～令和7年度における10件分である。

2款 繰越金

(単位：円、%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入割合	
						対予算	対調定
R07	3,545,000	32,336,631	32,336,631	0	0	912.2	100.0
R06	2,915,000	34,087,501	34,087,501	0	0	1,169.4	100.0
比較増減	630,000	△ 1,750,870	△ 1,750,870	0	0	△ 257.2	0.0
増減率	21.6	△ 5.1	△ 5.1	0.0	0.0	—	—

前年度と比較して収入済額は5.1%減少した。

3款 諸収入

(単位：円、%)

年 度	予算現額	調定額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入割合	
						対予算	対調定
R07	1,000	34,620	34,620	0	0	3462.0	100.0
R06	1,000	5,571	5,571	0	0	557.1	100.0
比較増減	0	29,049	29,049	0	0	2,904.9	0.0
増減率	0.0	521.4	521.4	0.0	0.0	—	—

前年度と比較して収入済額は521.4%増加した。

3. 歳出の決算及び執行状況

(1) 決算額

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率	構成比
議 会 費	6,592,000	5,871,536	720,464	89.1	59.8
財 産 費	1,690,000	986,152	703,848	58.4	10.0
諸 支 出 金	3,381,000	2,964,024	416,976	87.7	30.2
予 備 費	300,000	0	300,000	0.0	0.0
計	11,963,000	9,821,712	2,141,288	82.1	100.0

歳出の決算は前表のとおりである。議会費と財産費で歳出決算額の 69.8%を占めている。

(2) 款毎の前年度比較

1 款 議会費

(単位：円、%)

年 度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
R07	6,592,000	5,871,536	720,464	89.1
R06	6,879,000	6,220,422	658,578	90.4
比較増減	△ 287,000	△ 348,886	61,886	△ 1.3
増減率	△ 4.2	△ 5.6	9.4	—

前年度と比較すると支出済額は 5.6%減少している。支出の主な内訳は、議員報酬 4,128,000 円（前年度 4,128,000 円：同額）、交際費 127,300 円（前年度 147,500 円：20,200 円減）、議会活動費 524,030 円（前年度 554,930 円：30,900 円減）、議会管理費 1,084,206 円（前年度 1,381,992 円：297,786 円減）などである。

また、予算現額に占める不用額の割合は 10.9%（前年度 9.6%）である。

2 款 財産費

(単位：円、%)

年 度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
R07	1,690,000	986,152	703,848	58.4
R06	1,068,000	722,112	345,888	67.6
比較増減	622,000	264,040	357,960	△ 9.2
増減率	58.2	36.6	103.5	—

前年度と比較すると支出済額は 36.6%増加している。支出の内訳は、森林保育経費 594,000 円（前年度 343,200 円：250,800 円増）、事務費等 383,030 円（前年度 369,790 円：13,240 円増）、森林組合負担金 9,122 円（前年度 9,122 円：同額）である。

予算現額に占める不用額の割合は 41.6%（前年度 32.4%）である。

3 款 諸支出金

(単位：円、%)

年 度	予算現額	支出済額	不用額	執行率
R07	3,381,000	2,964,024	416,976	87.7
R06	3,859,000	3,859,000	0	100.0
比較増減	△ 478,000	△ 894,976	416,976	△ 12.3
増減率	△ 12.4	△ 23.2	—	—

前年度と比較すると支出済額は 23.2%減少した。諸支出金の内容は住民団体等に対する補助金である。

補助金の内訳は次のとおりである。なお前年度の実績は 23 件、2,964,024 円である。

補助金及び負担金の支出内容

(単位：円、件)

名 称	金 額	件 数
花 館 ス ポ ー ツ 振 興 会 補 助 金	462,000	1
花 館 地 区 社 会 福 祉 協 議 会 補 助 金	216,000	1
花 館 地 区 老 人 ク ラ ブ 連 絡 協 議 会 補 助 金	119,024	1
花 館 地 区 町 内 部 落 会 館 運 営 費 補 助 金	1,455,000	15
花 館 小 学 校 部 活 動 費 補 助 金	540,000	1
花 館 地 区 コ ミ ュ ニ テ ィ 会 議 補 助 金	100,000	1
花 館 地 区 町 内 会 連 絡 協 議 会 補 助 金	50,000	1
花 館 地 区 消 雪 施 設 ・ 更 新 事 業 補 助 金	12,000	1
ゴ ミ ボ ッ ク ス 修 繕 補 助 金	10,000	1
計	2,964,024	23

4 款 予備費

(単位：円、%)

年 度	予算額			支出済額	不用額
	当初	予備費支出	現計		
R07	300,000	0	300,000	0	300,000
R06	300,000	0	300,000	0	300,000
比較増減	0	0	0	0	0
増減率	0.0	—	0.0	0.0	—

令和 7 年度は予備費支出がなかった。

4. 財産調書

(1) 公有財産

①土地及び建物

(単位：㎡)

区 分		前年度末現在高	年度中増減高	決算年度末現在高
土 地	山 林	499,599.70	0.00	499,599.70
	宅 地	3,501.50	0.00	3,501.50
	原 野	1,261,725.71	0.00	1,261,725.71
	池 沼	1,599.00	0.00	1,599.00
	田 畑	11,225.51	0.00	11,225.51
	そ の 他	481,337.00	0.00	481,337.00
	計	2,258,988.42	0.00	2,258,988.42
建 物		14.04	0.00	14.04

②山林（普通財産）

区 分			単位	前年度末現在高	年度中増減高	決算年度末現在高
所有	面積	直 営	m ²	720,100.00	0.00	720,100.00
		貸付分収 市行林	m ²	49,586.77	0.00	49,586.77
		合 計	m ²	769,686.77	0.00	769,686.77
	立木	直 営	m ³	杉 21,271.00	0.00	21,271.00
		貸付分収 市行林	m ³	杉 261.00	0.00	261.00
		合 計	m ³	杉 21,532.00	0.00	21,532.00

③出資による権利

（単位：円）

区分	前年度末現在高	年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
仙北西森林組合出資金	344,000	0	0	344,000

(2) 物品（100 万円以上）

（単位：台）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
自 動 車	1	0	0	1

(3) 基金

○ 大仙市花館財産区財産維持管理基金

（単位：円）

区 分	前年度末現在高	年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
現 金	290,000,000	0	0	290,000,000